

語彙の特訓 甲

・小学低く中学年向き・

もくじ

このテキストについて	2
一、どうぶつの なかまの なまえ	3
二、とりの なかまの なまえ	11
三、さかなの なかまの なまえ	17
四、こんちゅうの なかまの なまえ	21
五、はなの なかまの なまえ	25
六、がくようひんの なかまの なまえ	33
七、にちようひんの なかまの なまえ	39
八、あいさつの ことば	45
九、クイズ	49

「語彙の特訓 甲」について

☆このテキストは、国語の読解の基礎となる、語彙力をあげる事を目的とした問題集です。

この「甲巻」は、非常に基礎的な、社会常識の範囲である言葉、日常につかわれる名詞およびあいさつ語を中心に編集しました。難度の高い名詞や、抽象的な形容詞、副詞などは、「乙巻」以降であつていません。

指導のポイント

①、小学校の低学年、中学年の段階では、正解、不正解を正しく見極めたり、自分が本当に理解したかどうかを正確に区別する事は難しいものです。したがって、丸つけはお母さんなどお家の方がなさってあげてください。

フードバックは早ければ早い程、学んだ事が良く定着します。また本人のやる気にもつながりますので、丸つけはできるだけ早くなさってください。

②、間違つた問題について。

本人の知っている(と思われる)言葉であれば、ヒントを与えて本人に答えさせるようにしてあげてください。ほとんど答に近いヒントであっても、自分で答えを出す事は子どもにとって非常に楽しい事であり、また次の問題を解く意欲につながります。

恐らく本人が知らないと思われる言葉である場合は、答を教えるも結構です。但し、答を教える時に、その言葉の意味を必ず説明してあげてください。ものの名前(名詞)の場合には、その言葉の指す実物を見せてあげるのもっともよい学習です。その場で実物を見せられない場合でも、機会を見つけて、実物を見せて教えてあげるようにしてください。

近年、子どもの語彙力が急速に低下しています。語彙力の低下はすなわち国語力の低下です。

子どもの学力の低下は、子どもを取り巻く環境の質の低下が原因に他なりません。テレビでの言葉の乱れ、詰め込み塾での、血の通っていない国語教育などがその原因として考えられますが、**まずは親御さんが正しく、豊かな言葉遣いをなさる事が肝要**です。「ら抜き言葉」「:的」「:てゆうか」「:じゃないですか」などの誤つた言葉遣いをなさらないように、日頃から心掛けて頂きたいと思えます。

一、どうぶつどうぶつの なかまなかまの なまえなまえ
①次つぎにかかれた文字もじを並ならべかえて、動物どうぶつの名な前まえを作りつくましょう。

こ・ね

り・ら・ご

ぬ・い

あ・ら・こ

ら・と

ず・み・ね

ね・き・つ

ま・く

だ・ら・く

す・り

解答は次のページです

一、どうぶつの なかまの なまえ

①次にかかれた文字を並べかえて、動物の名前を作りましょう。

こ・ね

ね
こ

り・ら・ご

ご
り
ら

ぬ・い

い
ぬ

あ・ら・こ

こ
あ
ら

ら・と

と
ら

ず・み・ね

ね
ず
み

ね・き・つ

き
つ
ね

ま・く

く
ま

だ・ら・く

ら
く
だ

す・り

り
す

九、クイズ

次のそれぞれのしつもんにあうように、□からことばをさがして、答をつくりましょう。

①、きものやゆかたを着た時にはく、木でできたはきもの。

②、外に出る時もって行く、ものを入れておく
どうぐ。

③、女の人を着る洋服。

④、空にかがやいていて、私たちに、光や熱を
与えてくれるもの。

⑤、私たちに、時間を知らせてくれるきかい。

い	い	う	か	か	け	げ	す
た	た	と	と	ば	よ	ん	ー

(文字は一回ずつ使います。)

九、クイズ

次のそれぞれのしつもんにあうように、□からことばをさがして、答をつくりましょう。

①、きものやゆかたを着た時にはく、木ででき

たはきもの。

げ
た

②、外に出る時もって行く、ものを入れておく

どうぐ。

か
ば
ん

③、女の人が着る洋服。

す
か
ー
と

④、空にかがやいていて、私たちに、光や熱を

与えてくれるもの。

た
い
よ
う

⑤、私たちに、時間を知らせてくれるきかい。

と
け
い

い	い	う	か	か	け	げ	す
た	た	と	と	ば	よ	ん	ー

(文字は一回ずつ使います。)

☆学びたいという気持ちが大切です
勉強を強制されていると感じているのではなく、心から学びたいと思っていることが、子どもを伸ばします。

☆意味を理解し納得する事が学びです
たとえば、公式を丸暗記して当てはめて解くのは正しい姿勢ではありません。意味を理解し納得するまで考えることが本当の学習です。

☆学びには生きた経験が必要です
家の手伝い、スポーツ、友人関係、近所付き合いや学校生活もしつかりできて、「学び」の姿勢は育ちます。
生きた経験を伴いながら、学びたいという心を持ち、意味を理解、納得する学習をすれば、負担を感じるほどの多くの問題をこなさずとも、子どもたちはそれぞれの目標を達成することができます。

発刊のことば

「生きてゆく」ということは、道のない道を歩いて行くようなものです。「答」のない問題を解くようなものです。今まで人はみんなそれぞれ道のない道を歩き、「答」のない問題を解いてきました。

子どもたちの未来にも、定まった「答」はありません。もちろん「解き方」や「公式」もありません。

私たちの後を継いで世界の明日を支えてゆく彼らにもっとも必要な、そして今、社会でもっとも求められている力は、この「解き方」も「公式」も「答」すらもない問題を解いてゆく力ではないでしょうか。

人間のはるかに及ばない、素晴らしい速さで計算を行うコンピュータでさえ、「解き方」のない問題を解く力はありません。特にこれからの人間に求められているのは、「解き方」も「公式」も「答」もない問題を解いてゆく力であると、私たちは確信しています。

M・Accessの教材が、これからの社会を支え、新しい世界を創造してゆく子どもたちの成長に、少しでも役立つことを願ってやみません。

国語読解の特訓シリーズ
シリーズ七 語彙の特訓 甲 言葉の知識を増やす練習

初版 第三刷

編集者 M・Access (エム・アクセス)
発行所 株式会社 認知工学
〒六〇四一八一五五 京都市中京区錦小路烏丸西入ル
電話 (〇七五)二五六一七七二三
郵便振替 〇一〇八〇九一九三六二 株式会社認知工学

ISBN4-901705-56-3 C6381

NO70305F

定価 〃 本体五〇〇円 十税